

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月5日		記入者	高橋 太介	連絡先	5135
平成18年度部名	教育総務部		課名	学校施設課	課長名	角田 栄次
平成19年度部名	教育環境部		課名	学校施設課	課長名	田辺 誠
事務事業名	小学校・中学校校舎等環境対策事業					
予算上の事務事業名	小学校・中学校環境対策事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	14121		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します					
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造					
施策名	第2施策 小・中学校教育の充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
3 個別計画の概要			概要			
計画名	学校教育環境整備計画			○悪臭対策は17年度で終了 ○騒音対策は航空機騒音の影響が大きい小中学校の普通教室及び特別教室（音楽室・図書室）の窓を防音サッシに取替え冷房設備を設置する。		
計画年次	16	年度～	20	年度		
4 事業形態の区分	維持・管理・補修			5 事業開始年度	平成12年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）				(2) 対象（誰、何）		
学校教育環境を阻害する要因（悪臭、騒音）について、平成16年度までに実施した調査、評価を踏まえ、防音サッシへの取替整備及び冷房設備の設置を行い、教育環境の向上を図る。				市立小学校・中学校の児童・生徒及び教職員		
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。						
○使用料・賃借料：南大野小・谷口小普通教室等冷暖房設備賃貸借 ○工事請負費：上鶴間小防音サッシ取替工事、上鶴間小冷房設備設置工事、南大野小防音サッシ取替工事、谷口小防音サッシ取替工事、						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 〔単位：千円〕						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	23,300	230,637	51,845	2,650	10,600	
一般財源	23,300	230,637	51,845	2,650	10,600	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	886	8,768	1,971	101	403	
事業コスト合計	24,186	239,405	53,816	2,751	11,003	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	小学校・中学校環境対策事業			対象名称 と単位	校数	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	24,186	239,405	53,816	2,751	11,003	
対 象 数	4	6	2	1	4	
単位あたり経費(円)	6,046,500	39,900,833	26,908,000	2,751,000	2,750,750	
前 年 度 比		6.60	0.67	0.10	1.00	
10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの						

指標名と単位	設置工事件数	指標式と指標の説明	設置工事件数／事業費における執行要の件数 × 100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	3.0	15.0	2.0		
目標	3.0	15.0	2.0	1.0	4.0
目標達成度 (%)	100.0	100.0	100.0		
1.1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	冷房設備設置率	指標式と指標の説明	冷房設備設置済件数／設置を必要とする件数 冷房設備設置の健全性をみる		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度 (%)	100.0	100.0	100.0		
1.2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A: 妥当である・B: 妥当性に課題がある・C: 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A: 有効である・B: 有効性を高める余地がある・C: 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A: 効率が良い・B: 効率性を高める余地がある・C: 効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1.3 総合評価 (一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価 (今後の方向性)			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		平成12～16年度における航空機騒音等対策の調査・研究等をふまえ、平成16年度より実際の冷房設備設置等に着手し、児童・生徒等の教育環境の改善を推進してきた。 今後も着実に遂行できるよう努めていきたい。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1.4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1.5 課題として認識されたこと		
児童・生徒等が安全で快適な学校生活を送るため、航空機騒音等の対策上、国の指定防音区域内の学校施設における当該事業の実施により、施設・設備の機能性を向上させることは不可欠な事業である。			指定防音区域外の近隣の学校や、悪臭発生場所より遠隔の学校より、環境改善の要望が出されてきた。		
(1) 局内評価会議による評価 (今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			